

研究の目的

本校生徒316名に、よく利用するショッピングモールがどこかアンケートを実施したところ、“ららぽーとTOKYO-BAY”(船橋市)の利用者が圧倒的に多かった(図1)。千葉市在住者が多いにも関わらず(表1)、なぜ「イオンモール幕張新都心」(千葉市)の利用者はそれほど多くないのか。2つのショッピングモールに関して更なるアンケートを実施&分析、加えて現地調査を行い、利用者数に大きな差が生じた要因を探った。

↓(図1)本校の生徒がよく利用するショッピングモール(単位:人)



(表1)アンケート回答者の在住自治体(単位:人) ↑

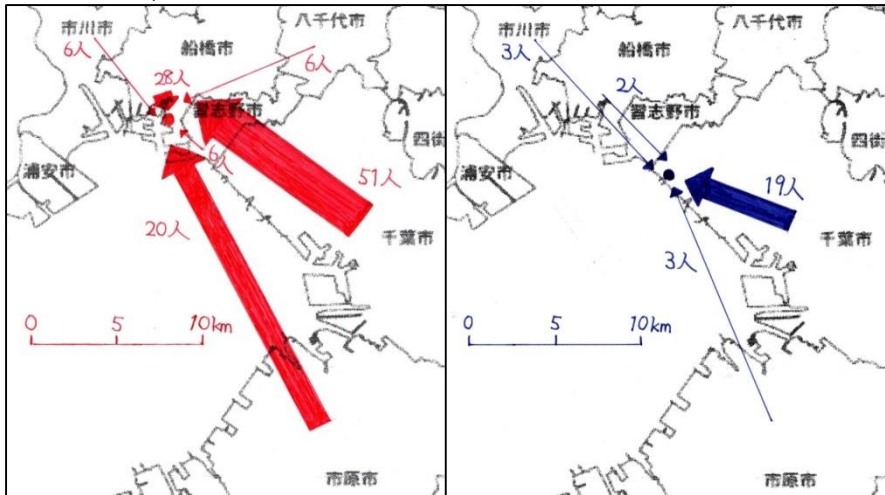
↓(表2)2大ショッピングモールの概要

ららぽーと		イオン幕張新都心	
JR京葉線 南船橋駅	最寄り駅	JR京葉線 海浜幕張駅	
256,000m ²	延床面積	402,000m ²	
約440店舗	店舗数	AEON STYLE+約350店舗	
199店舗 (満遍なく位置)	ファッション 店舗数	85店舗 (2個のモールに固まって位置)	
85店舗 (所々に固まって位置)	グルメ店舗数	73店舗 (主に2個のモールに固まって位置)	

アンケート分析1

(図2)高校生はどこから訪れて来るか

↓赤:ららぽーと 青:イオン幕張新都心



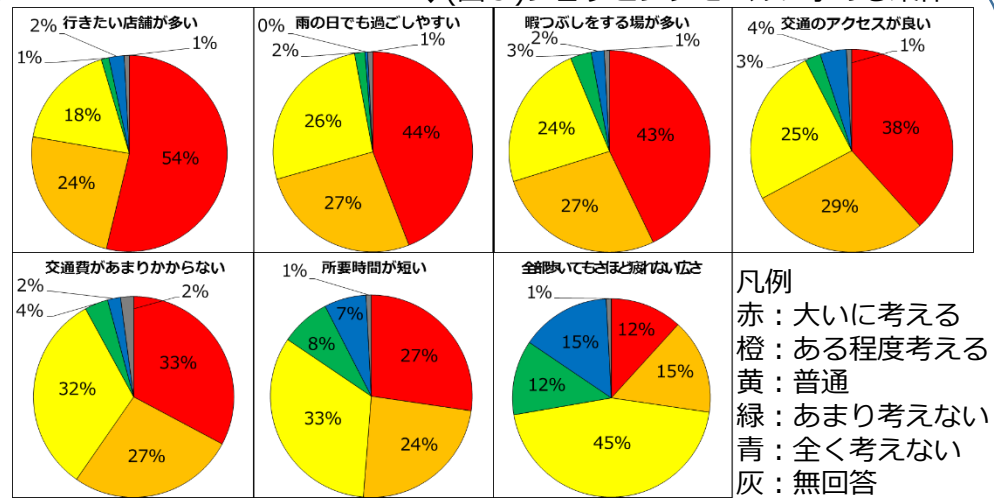
↓(表3)利用状況の違い

ららぽーと		イオン幕張新都心	
電車を利用する人 : 79%	交通手段 ※複数回答有	電車を利用する人 : 52%	
徒歩や自転車で行く人 : 73%		徒歩や自転車で行く人 : 36%	
バスを利用する人 : 17%		バスを利用する人 : 34%	
自家用車で行く人 : 10%		自家用車で行く人 : 30%	
15分未満 : 6%	所要時間	15分未満 : 6%	
15分以上30分未満 : 24%		15分以上30分未満 : 21%	
30分以上60分未満 : 54%		30分以上60分未満 : 49%	
60分以上90分未満 : 12%		60分以上90分未満 : 21%	
90分以上 : 4%		90分以上 : 3%	
服飾を探す, 買う : 78%	目的	服飾を探す, 買う : 50%	
映画を見る : 14%		映画を見る : 3%	
飲食店を利用する : 4%		飲食店を利用する : 9%	
食品を探す, 買う : 2%		食品を探す, 買う : 16%	
情報収集をする : 2%		暇つぶしをする : 19%	

分かること

- “ららぽーと”から遠い自治体(千葉市、市原市など)に在住していても利用している
- 服飾店を利用する生徒が多い

アンケート分析2 ↓(図3)ショッピングモールに求める条件



凡例
赤: 大いに考える
橙: ある程度考える
黄: 普通
緑: あまり考えない
青: 全く考えない
灰: 無回答

分かること

- 高校生は「行きたい店舗が多さ」「雨の日の過ごしやすさ」「暇つぶしができる場所の多さ」「交通アクセスの良さ」を重要視している。
- 高校生にとって「交通費があまりかからないこと」「所要時間の短さ」はあまり重要ではない。

現地調査

↓(表4)現地調査で分かったこと

ららぽーと		イオン幕張新都心
徒歩約5分	最寄り駅からの所要時間	徒歩約20分
ほとんど屋根に覆われている	雨の日(徒歩)	一般歩道のため屋根がない
「動く歩道」を完備	工夫している点	有料バスが充実 ※2023年に新駅開業予定

↓(図4)南船橋駅—ららぽーと間の徒歩ルート



“ららぽーと”の徒歩ルートに「動く歩道」が完備され、雨の日でも容易に訪れることができる。

- 考察**
- 「行きたい店舗が多い」ことを重要視し、特に「服飾を探す, 買う」高校生にとって、“ららぽーと”のファッション店舗数そのものが大きな魅力である。
 - 多くの高校生が「雨の日の過ごしやすさ」「交通アクセスの良さ」を重要視するため、最寄り駅からショッピングモールまでの所要時間が短いほど良い。その点で、“ららぽーと”の「動く歩道」は魅力的な設備である。

以上が

“ららぽーと”と“イオンモール幕張新都心”の利用状況に大きな差が生じた要因と考える。

最後に…

2023年にイオン幕張新都心付近にJR京葉線の新駅が開業予定である。開業以降に同様の研究を実施したら、今回と異なる結果が導き出せるのではないだろうか。ぜひ調査してみたい。